第50回民放労連 全国女性のつどい in仙台

■日　程　6月8日（土）、9日（日）
■会　場　仙台国際ホテル
■参加費　16，000円（交流会費含む）
■内　容　☆6月8日（土）
記念講演　ゲスト：サンドウィッチマン
分科会① ドキュメンタリー映画『3.11 ここに生きる』の上映と講演
分科会② 原発事故と福島の現状
分科会③ 食の安全：大切なのは食の安全を理解すること
分科会④ 危機を察知する“生きる力”脳科学から防災を考える
分科会⑤ 震災の経験から学ぶココロのお話
分科会⑥ 地震のメカニズムと防災エンス（防災&サイエンス）

☆6月9日（日）
分科会① 「震災報道を語る」
分科会② 被災地バス見学（※定員のため申し込みは締め切りました）

■申し込み　民放労連女性協議会HPからお申し込みください！

■お問い合わせ　民放労連本部（TEL:03-3355-0461）まで

九州地連女性協議会「春を呼ぶ 女性のつどい」

春闘学習会

金メダルをかこんでの記念撮影

春風まだ冷たい3月2日、今年も九州各地から約三〇人が参加して九州地連女性協の春闘学習会「春をよぶ女性のつどい」が行われました。

今回の講演は「自分らしく　きらきら生きる」と題して、ロンドンパラリンピックのゴールボール金メダリスト・浦田理恵さんを講師にお迎えしました。おしゃれと美味しいものが大好きで、一緒にいるだけで自然と明るい気持ちにさせてくれる浦田さんですが、いろんな挫折を乗り越え、前に進んで現在があるそうです。

目が勢り見えなくなった大学時代、何より嫌しく大変だったのは「見えない自分」を受け入れること、家族をはじめ、周りの人に自分の状況や苦しい気持ちを伝えることができて、ようやく前に進むことができたといいます。「家族の人切さ」を再認識し、困難を乗り越えるために必要だったのは「自分で何とかしないと！」という気持ちと「自分のことを周りに伝える」ことだったそうです。その後、日常生活の訓練をし、鍼灸マッサージの資格を取り、ゴールボールとの出会い…。多くの人と関わる中で、積極的に外に出てこの浦田さんになったそうです。常に前に進む気持ちを忘れず、新たな目標に向かって、「自分らしく　きらきら生きる」こと、諦めないことだそうです。

最後に、彼女の今の目標は、やっぱり次のリオ五輪での金メダルとのこと。また、働く女性の永遠の課題でもある結婚や子どもについても、最近積極的に考えたいと思っているそうです。講演の終わりには、本物の金メダルを触らせてもらいました。そのきらめきに負けない思いが伝わってきて、参加者は元気をもらえました！

各単組からの報告では、新入社員の入社や産休育児休業取得者の復帰などの嬉しい報告もありましたが、産休の有休化ができていない単組もまだまだあるなど、課題が沢山あります。それぞれの直面する課題と向き合って進んでいくことを確認し、つどいは無事閉会しました。

蛇足ですが、懇親会は福岡の名店「たつみ寿司総本店」。美味しいものを満喫して楽しい博多の夜は更けていきました。

（九州地連女性協書記長　吉賀香織）

ぷちまるえん

女性協議会

●女性協
URL
http://www.minpororen.jp/women/index.html